

# 国土形成計画のプロモーションについて

## これまでに実施した主なプロモーション

### ■ 講演・シンポジウム

- ・10月25日 日本道路協会 道路セミナー
- ・10月31日 日EU都市・地域政策対話
- ・11月7日 国土・地域計画策定・推進支援プラットフォーム
- ・11月15日 JICA課題別研修「国土・地域開発政策」
- ・11月29日 国土交通大学校 官民交流研修
- ・12月5日 中部経済同友会等主催(経営者層)
- ・12月21日 虎ノ門政策研究会(時評社)
- ・1月12日 KIOI Talk(仮称)  
(内閣官房デジタル行財政改革会議)

### ■ 地域づくりイベント

- ・12月3日 全国軽トラ市 in はままつ



<軽トラ市でのプロモーション>

### ■ 教育機関

- ・11月28日 京都大学(公共政策大学院生)

### ■ 寄稿

- ・土木施工 10月号
- ・人と国土21 11月号
- ・建設マネジメント技術 12月号
- ・交通工学 1月号
- ・社会科教育 1月号 ※社会科教員向け

### ■ 広域地方計画策定に向けたワークショップ

- ・11月9日、13日  
中部圏広域地方計画推進室によるワークショップ  
(詳細は次ページ参照)



<広域地方計画策定に向けた学生ワークショップ>

# 「広域地方計画策定に向けたワークショップ」実施概要

- 新たな中部圏広域地方計画の策定にあたり、未来を担う若者の意見を参考とするため、大学(院)生を対象としたワークショップを中部圏広域地方計画推進室(※)が開催。

(※)広域地方計画推進室: 地方整備局及び地方運輸局における広域地方計画に係る事務処理を行うため、各地方整備局に設置された組織。

【実施日】 令和5年11月9日(木) 13:00~15:40

【参加者】 名古屋市立大学 大学生20名



若手職員もファシリテーターとしてサポート

【実施日】 令和5年11月13日(月)13:00~14:50

【参加者】 名古屋大学 大学(院)生23名



グループディスカッション



グループ発表

## 【大学生の主なコメント】

- ・東京は「挑戦」、中部は「安定」。中部圏にも挑戦できる場があればよい。
- ・子育てを考えた時にUターンしてもらえる、住みやすいまちづくりを進めていったらよいのでは。
- ・リニア駅を観光地への乗り換え拠点としてハブ化することが重要。二次交通の充実が不可欠。
- ・地域貢献をポイント化し、地域通貨として使うなど、地域に貢献したくなる仕組みづくりが必要。

## 【大学(院)生の主なコメント】

- ・学生時代に社会との結びつきを強くし、魅力を感じられれば地域への愛着が湧く。
- ・若者が若者を引っ張っていける場があると良い。
- ・住みたくなる地域には、仕事を増やすことが必要で、仕事そのものの魅力や種類を増やすことが重要。
- ・防災をちゃんと考えている地域は、これから先も住み続ける一つの理由となる。

# 国土形成計画のプロモーションについて

## 今後の主な予定

### ■講演・シンポジウム

- ・2月5日 南西フォーラム オープンイノベーションチャレンジ in さがみはら(事務局 相模原市)
- ・2月28日 ReVisionモビリティサミット2024(ReVision Auto&Mobility)

### ■ラジオ出演

- ・1月21日 政府広報提供ラジオ番組「青木源太・足立梨花 Sunday Collection」(エフエム東京)

### ■広域地方計画策定に向けた若者との対話

- ・2月21日 第10回地域づくり政策セミナー(九州地方整備局)
- ・3月4日 中国圏広域地方計画シンポジウム(中国地方整備局)
- ・3月19日 関西ダイアログ2024(近畿地方整備局)

### ■プロモーションツールの制作

- ・地域生活圏のPR動画
- ・特設国交省HP
- ・デザインポスター



政府広報提供ラジオ番組「青木源太・足立梨花 Sunday Collection」に出演！  
～日本の未来が見える！新たな国土形成計画～(1月21日放送)

※その他、二地域居住等の促進に向けても、経済界と連携し、積極的にプロモーションを展開。

# 国土計画シンポジウム「新たな国土形成計画が拓く未来」実施概要

第1回推進部会(10/6) 参考資料3

○ 新たな国土形成計画に掲げられた「新時代に地域力をつなぐ国土」を実現すべく、国土審議会計画部会委員と、若者たちが対話し、これからの国土づくりを考えるシンポジウムを開催。 ※国土計画協会HPで動画を配信中

【実施日】 令和5年9月8日(金)14:30~17:00

【主催】 一般財団法人 国土計画協会

【報告】「新たな国土形成計画について」

国土交通省国土政策局長 黒田 昌義

【パネルディスカッション】

テーマ:「新たな国土形成計画が拓く未来  
~新時代に地域力をつなぐ国土を目指して~」

(コーディネーター) 木場 弘子氏

(コメンテーター) 増田 寛也氏

(パネリスト) 海老原 城一氏、加藤 史子氏、大学(院)生3名

パネルディスカッションの様子



## 【大学(院)生3名の主なコメント】

- ・地域の文化、価値観を作るのは地域住民であり、定住は重要。また、デジタルツールを使って地域活動に関われるようになった。
- ・地域生活圏を実現し、自家用車のタクシーや自動運転等の新しい形のインフラを取り入れていくことは大事。
- ・移住促進によって、社会の変化に敏感な若者世代が地域に入り、地域を発展させていくことが重要。
- ・若者が、計画のコンセプトを作るプロセスで意見を言ってもよいという気持ちを持つことが大事。
- ・若者が主役と言われるのは印象的。上の世代が決めた事に従うことが多かったが、今後は主体的な行動が大事。
- ・学校教育が広報で使えるのでは。地理総合が新設されたが、自分で調べる授業は印象に残るので、国土を意識した教育が少しでも入れれば変わる。
- ・HPで一方向的に周知するのではなく、今後も、公の場で議論する機会を設けてほしい。